

社会福祉法人一麦会 (所在地：和歌山県紀の川市)

事業名	<h2>ゆめ・やりたいこと実現センターの運営</h2>		
------------	-----------------------------	--	--

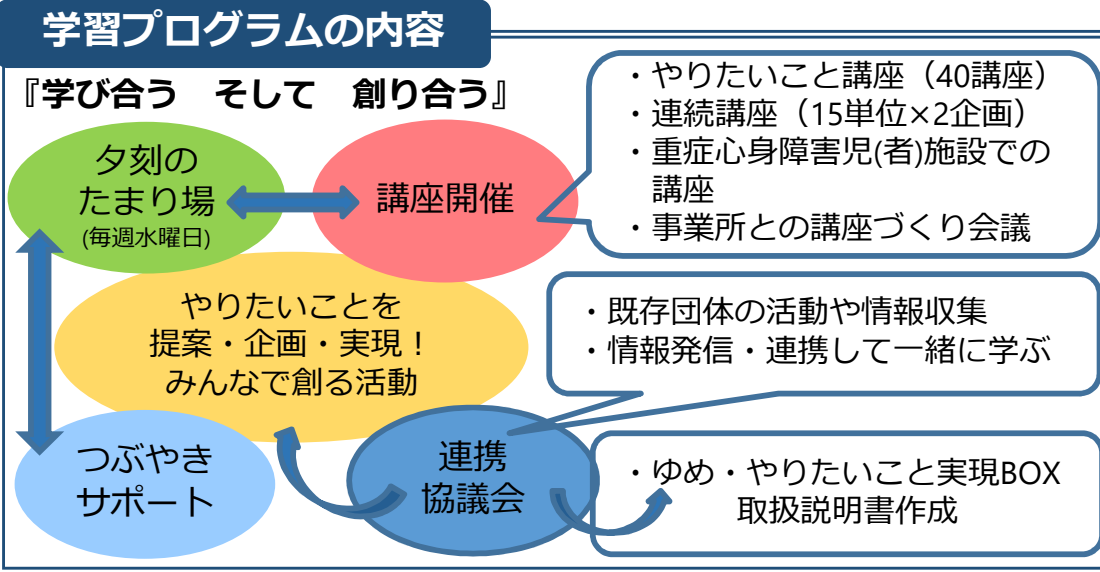
研究テーマ	学校から社会への移行期	生涯の各ライフステージ	○	主な対象	知的・精神・身体・発達・重症心身障害者等
--------------	-------------	-------------	---	-------------	----------------------

事業の趣旨・目的

衣・食・住・働が保障されていることで「生きる」ことができるとすれば、**学びや活動・役割が保障されていることで「生きる」**ことができます。障害のある人や様々な困難を抱える人などの『生きる』と『生きる』を膨らませて、「ゆめ」や「やりたいこと」を実現させるセンターです。

事業実施体制・連携先

連携協議会：障害当事者（2名）、青年学級、スペシャルオリンピックス日本・和歌山、和歌山大学教育学部教授、県特別支援教育室室長、県生涯学習課企画調整班長、重症心身障害児(者)施設センター長（医師）等17名で構成し**伝達報告会議ではなく議論**（ダイアログ方式、KJ法等）をする協議会にしている。コーディネーターは**専任常勤が絶対条件**である。



- 研究の成果と課題**
- ① 「やりたいこと講座」と「連続講座」の両軸
 やりたいこと講座 = 受講生を**広く募り**生涯学習への参加機会を増やした。
 連続講座 = 受講生を限定して**深堀**した。
 - ② 重症心身障害児(者)施設での講座
 各種講座で培ったノウハウをもとに重症心身障害者が受講できる講座を検討し**出前講座**を開催した。
 - ③ 障害者支援事業所との「講座づくり会議」
 事業所利用者と「講座づくり会議」を開催。一緒に講座を企画する事で**生涯学習の必要性と意識を広げることが出来た**。
 - ④ 育ち合いの「夕刻のたまり場」・「つばやきサポート」
 講座を多く開催する「イベント屋」ではなく、ベースには、育ち合いの取り組み(青年学級)が源流にある。悩み合いと語り合いで共有することで**集团的解決を導き出し認め合えた**。
 - ⑤ ゆめ・やりたいこと実現BOX 取扱説明書の作成
 連携協議会が何を大切にしてきたかを**再確認し** **多くの人に発信**するために「取扱説明書」を作成。
 - ⑥ コロナ禍のもとでも「できない」ではなく「できること」を探し活動。
見えてきた課題：各市区町村に障害者の生涯学習・社会教育の拠点が必要。



その他研究の詳細など

ゆめ・やり ホームページ & 紹介動画
<http://yume-yaritaikoto.jp.org/>

HP

動画